

はやぶさ 2

AKITA CITY HOSPITAL

2026年7月2日 第89号

第89号 (第178号)

- ・ 辻副院長
- ・ 地域医療支援病院の指定
- ・ 6月行事食紹介
- ・ 感染管理室から
- ・ 経営企画室より
- ・ ひとことコーナー
～好きなアイス、
ジェラート、かき氷～
- ・ チーム紹介
- ・ 実習生・見学者アンケート
- ・ 病院祭・忘年会開催日について
- ・ 団体取扱生命保険について
- ・ はやぶさ2発行頻度変更
のお知らせ

当院の外来診療から紐解く秋田のこれから

副院長 辻 剛 俊



当院の消化器内科外来は、主治医制で週2回の外来を行っている。その7～8割の患者さんが、指定難病のクローン病(CD)と潰瘍性大腸炎(UC)である。この疾患は、中学から大学の若年期に発症することが多く、薬物治療や食事療法の継続が必要で定期的な通院が欠かせない。2025年には秋田県の登録数はUC1586人、CD394人である。当院は、UC376人、CD131人であり、秋田県の中では患者数が多い。20～60歳代の若い年齢層も多く(グラフ)、進学、就職、転職などの紹介状を作成する機会が多い。その紹介理由と行先を調査した。最も多いのは、当院で状態が安定しかかりつけ医に紹介した41人(平均49.9歳)で、その後も県内に在住していると予想される(表)。一方、進学や就職は、東北圏内より関東地方が圧倒的に多く、県外からの帰郷は0人であった。転職者は、体調を崩して地元の秋田で治療し回復後30歳前後に再び関東への移動がほとんどであった。35歳を中心とした転職族は、北東北の支社のある県に紹介するか、関東地方の本社に戻るが多かった。

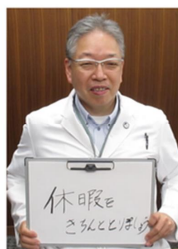
これらをまとめると、元気になった若者は関東圏へ旅立ち戻ってこない。30代の転職族は北東北の支社を回避して本社へ戻り、50代以降になるとようやく秋田に留まる。つまり、働ける若い層は体調が悪いときには秋田で療養するが、それ以外は県外へ流出してしまう。結果として県内には移動しない50歳以上の高齢者の比率が高まり、高齢化率日本一の現状を加速させている。

当院のIBD患者さんの動向は、秋田県全体の人口動態の縮図そのものである。しかし裏を返せば、慢性疾患を抱えても安心して暮らせる環境が秋田県にあるのではないのか。県内に残る人々を支える「医療環境の充実」こそが、これからの地方都市「秋田」の持つべき強みであり、最大の魅力になり得るのではないかと考えている。

図表を一緒にご覧ください！→

夏休み取得期間
始まっています

6月～10月末日まで取得可能な「夏期休暇(夏休み)」が全職員に5日付与されています。安藤病院長からも「休暇をきちんととってくださいね」と話がありました。皆さんお忙しいとは存じますが、暑い夏を乗り切れるようぜひ計画的に取得してください。リフレッシュしたら仕事への英気も養われるはず！



グラフ 当科に通院中の潰瘍性大腸炎の年齢

高齢層だけでなく、20代～60代の現役世代が大きな割合を占めているのが特徴。

理由	人数 (人)	年齢平均 (歳)	秋田県内 (人)	東北地方 (人)	関東地方 (人)	その他地域 (人)
就職	14	22.7	0	4	7	3
転職	6	30.3	0	1	5	0
転勤	29	35.3	0	14	12	2
安定し紹介	41	49.9	39	2	0	0
進学	7	18.4	0	2	3	2
転居	5	63.6	0	3	1	0
帰省	2	23.0	0	0	0	2
刑務所出所	2	54.0	0	2	0	0
不明	2	33.5	0	0	0	0
合計			39	28	28	9

表1 炎症性腸疾患患者さんの紹介理由と紹介地域

最も多いのは状態安定による「県内かかりつけ医への紹介」
進学・就職・転職の多くは「関東圏」への流出

※チラシの内容を一部抜粋



令和8年4月 秋田県から 「地域医療支援病院」として指定されました

地域医療支援病院とは

かかりつけ医療機関等との適切な「役割分担と連携」を行い、地域医療全体の充実を図ることを目的とした制度で、定められた要件を満たし、地域医療の中核となる病院が都道府県知事より承認されます。

地域医療支援病院の主な4つの役割

その1

専門的な医療の提供

地域の医療機関からの「紹介患者」に対する専門的な医療の提供

その2

救急医療の提供

24時間体制で「救急医療」を提供

その3

医療機器の共同利用

地域の医療機関と医療機器を共同利用することで「地域全体の医療の質向上」に寄与

その4

医療従事者の教育

地域の医療従事者に対する研修会を実施し、「地域の医療従事者のスキル向上」に寄与



① かかりつけ医→市立秋田総合病院

専門的な治療や検査が必要と判断された場合は、**紹介状を持って受診**いただきますようお願いいたします。

② 市立秋田総合病院→かかりつけ医

当院での急性期治療を終えて、**症状が安定した患者さんは、「かかりつけ医」に紹介**させていただきます。

※紹介状をお持ちでない場合等については、診療料金は別に「**選定療養費**」がかかります。

選定療養費について

地域医療支援病院承認に伴い、**他の医療機関からの紹介状をお持ちでない方の場合等**について、「選定療養費」として以下のように金額を徴収させていただいております。

区分	医科	歯科
初診時選定療養費 ※1	7,700円(税込)	5,500円(税込)
再診時選定療養費 ※2	3,300円(税込)	2,090円(税込)

※1 初診時選定療養費 かかりつけ医療機関等から紹介状がなく受診する場合

※2 再診時選定療養費 当院から他医療機関に紹介を申し出たにも関わらず、

患者さんの希望により引き続き当院を受診する場合

※他医療機関を一度受診した後に再び当院を受診される場合も対象となります。



6月行事食

あじさい弁当 (6/8の常食の方に提供)

<メニュー内容>

- ・青菜ご飯
- ・吸い物
- ・えびの天ぷら (抹茶塩)
- ・厚焼き卵
- ・鶏肉と野菜のマリネ
- ・焼き茄子
- ・小松菜の和え物
- ・あじさいゼリー



感染管理室から



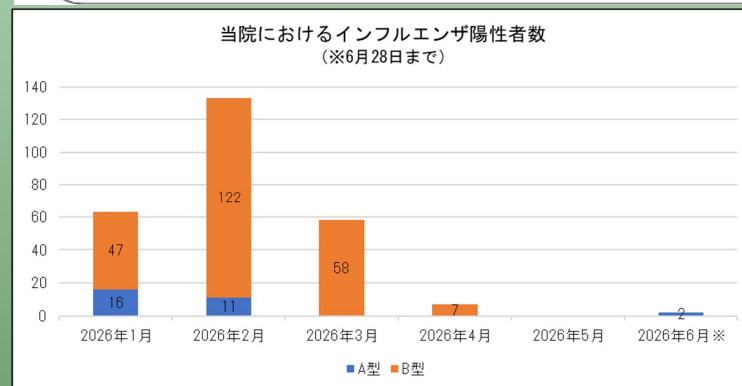
夏のインフルエンザに要注意!

インフルエンザは冬だけの感染症ではありません。夏にも流行することがあります。

秋田県でも6月以降、修学旅行など県外との往来を契機としたインフルエンザの発生が確認されています。「夏だからインフルエンザではない」と決めつけず、発熱、咳、咽頭痛などを認めた場合には、COVID-19とともにインフルエンザも鑑別に挙げましょう。

当院でも2016年7月に「真夏のインフルエンザアウトブレイク」を経験しています。また、今年6月にもインフルエンザ陽性者が確認されています(下図)。院内での感染拡大防止のため、適切な感染対策を実施するとともに、必要に応じてインフルエンザ迅速抗原検査の実施をご検討ください。

(2026.6.29感染管理室)



経営企画室だより

<令和8年度稼働目標達成状況(5月分)>

(単位: 人、日、千円、%)

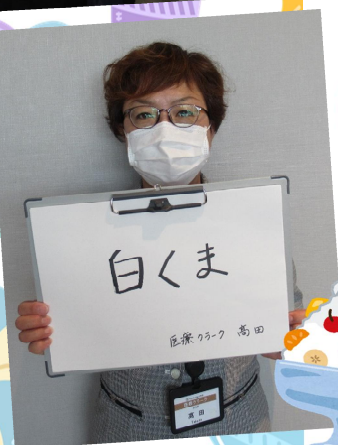
		年度目標	5月目標	5月実績	累積差異	目標達成率
入院	1日平均患者数	349.8	356.5	329.8	▲ 26.7	95.8%
	稼働額	9,047,488	768,416	679,796	▲ 88,620	92.6%
	病床稼働率	88.3%	90.0%	90.6%	0.6%	95.8%
	一般	94.7%	94.9%	100.1%	5.2%	102.3%
	緩和	67.5%	66.7%	71.2%	4.5%	98.5%
	結核	45.0%	28.6%	25.1%	▲ 3.5%	86.2%
外来	精神	63.1%	82.2%	49.4%	▲ 32.8%	63.3%
	1日平均患者数	808.9	801.0	819.2	18.2	98.3%
	稼働額	4,138,040	305,265	319,828	14,563	98.8%
稼働額合計(入外)		13,185,527	1,073,682	999,624	▲ 74,058	94.5%

※単月目標は、年間診療日数を月次で按分



お子さんが書いてくれた絵だそう
かわいい! & 上手ですね!!

ひまわり コーナー



今回のテーマは
「好きなアイス・
ジェラート・おき氷」



院内チーム紹介

精神科リエゾンチーム



“リエゾン”という言葉には、「つなぐ、連携する」といった意味があります。
身体と心はつながっており、体が病気になると、不眠、不安や焦り、気分の落ち込みなど、心にも様々な影響が出てくる場合があります。

当チームは身体の治療で入院中の患者さんに精神的・心理的問題が生じた場合に、身体科医師や病棟看護師と連携しながら、患者さんに安心して治療を受けて頂けるようにサポートを行っています。

所属するメンバーは精神科医4名、認知症看護認定看護師1名、公認心理師1名、薬剤師1名、精神保健福祉士1名といった複数の職種で構成され、毎週火曜日15時にチーム回診、カンファレンスを行っています。

対象は一般病棟やICUに入院しているせん妄、不眠、不安や抑うつなどの精神症状を有する方、精神疾患を有する方、体の治療に伴う様々な精神症状を有する方などです。

身体科医師や病棟看護師から介入依頼のあった患者さんのところへ訪問し、お困りごとやお悩みごとに応じて、精神的な治療を提供したり、お話をうかがうことで心理的なサポートを行ったりしています。さらには患者さんの精神的/心理的状态をよりよく理解できるよう、身体科医師や病棟看護師と共に、心のケアやよりよい対応方法について話し合います。

せん妄や精神疾患などをお持ちの患者さんの対応で困難が生じた際は是非当チームをご活用ください。



8月3日(月)から
再来受付機の受付票用紙サイズが変更になります
レシートタイプからA4用紙サイズへ

これまでのレシートタイプでは、文字数に制限があり、行き先が分かりづらい場面がありました。今回の変更により、用紙下に簡単な案内図を掲載したりと、行き先が分かりやすくなっています。

A4用紙は、受付機右側のプリンタから印刷されます。





実習生・見学者アンケート

実習期間：2026年6月

輝く未来の後輩たち！(強い希望)の病院実習、見学の感想です！

医学実習生・見学生6名から

■実習を受けた感想

- ・ダビンチを使用した手術など多く見学することができ大変勉強になった。
- ・先生方に見学している症例の解説をしていただいたり、国家試験に役立つ知識を教えていただいたりととても勉強になり、有り難かった。
- ・丁寧な指導が大変勉強になりました。良い経験をたくさん積めました。ありがとうございました。(脳神経内科)
- ・お忙しい中、手術中の手技をたくさん経験させてくださり、とても充実した実習となりました。手術の際の工夫やその理由を多く教えていただき、解剖について理解を深めることができました。素晴らしい先生方に恵まれ、実習が終わるのが名残惜しく感じられました。(外科)
- ・外科の先生方のお人柄が元気で優しく、常楽しく充実した見学となりました。(外科)
- ・大学では学ぶことのできないことを多く学ぶ機会となりました。(小児科)

■興味のある分野、時間があれば学びたいこと

- ・術前・術後管理、栄養管理など。
- ・神経変性疾患、脳卒中
- ・心臓血管外科

■不満に思ったこと

- ・ドアの鍵の静電気

■好きな食堂のメニュー

- ・ざるそば
- ・カツ丼・そば
- ・日替わりうどん
- ・冷やし和風ラーメン



今年もやります！ 病院祭&院友会忘年会(日程)についてのお知らせ

まだ少し先の話ではありますが・・・

病院祭・・・10月17日(土)

忘年会・・・12月10日(木) in キャッスルホテル

という日程で確定しました！是非参考に日程を控えておいてください。

今後実行委員会や幹事の皆さんにより詳細が決定します！今後のお知らせにご期待ください。



団体取扱生命保険について

当院、団体取扱生命保険についてご案内いたします。

個人で契約している生命保険を、団体取扱に変更することで、下記のようなメリットがあります。

【対象保険会社】

「日本生命」、「住友生命」、「アフラック」

【メリット】

- 1、保険料が給与から天引きとなります。口座残高などを気にすることなく、契約を継続できます。
- 2、年末調整(生命保険料控除)の手続きが簡単です。
年末調整資料がまとめて団体(当院)へ送付されるため、保険料控除申告書や年末調整ハガキを個別に提出する手間が省けます。
- 3、保険料が割引される場合があります。
契約者の人数や契約商品によっては、口座振替よりお安くなる場合があります。
※状況によっては、割引にならない場合もあります。

【問い合わせ先】

個人で契約している保険会社のご担当者へお問合せください。



院内広報誌「はやぶさ2」

発行頻度変更に関するお知らせ

8月休刊、9月から2ヶ月に1回の発行へ

いつも院内広報誌「はやぶさ2」をご覧いただき、ありがとうございます。
院内職員の皆さんとの融和や院内の情報発信を目的としてはやぶさ2を発行して参りましたが、この度SNSを始めとする「院外広報」により注力するため、広報委員会にて発行頻度を見直すことに決まりました。8月号は一度休刊とさせていただきます、9月からは2ヶ月に1回の発行になります。また、広報誌という形にとらわれず、デジタル化をし、よりタイムリーに情報を発信していくことも検討中ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。Instagramを主軸として院内の皆さんや行事等についても発信しています。気楽に楽しんでいただけるようなコンテンツを目指していますので、是非フォローいただければ嬉しいです。今後とも編集部をよろしく願います。



～編集後記～

サッカーW杯盛り上がりしていますね！ブラジル戦は2時に起きよう！と一度寝たものの、起きられず結局3時頃(後半)から応援しました！1点入っていて勝てるかも！と思ったのもつかの間、後半戦はブラジルの強さに圧倒。いや～強かった。日本代表は負けちゃいましたが、最後の笛が鳴るその瞬間まで諦めずに向かっていく姿に感動したのでした。試合はもちろん本田氏の解説も全てが楽しかった！感謝感謝です。W杯は4年に1度の楽しみを提供してくれていますが、その他にも夏になると夏祭りや花火、海などなど楽しみなことが沢山ありますよね(子どものようにワクワクするのは筆者だけでしょうか？)。羽目を外しすぎず忙しい日々を忘れリフレッシュしたいものです。そのためにも夏休み計画的に取っていききたいですね！
情報提供はこちらまで！→hensyuubu@akita-city-hospital.jp 編集部